

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」



教会の働き

- 9月14日(土)～15日(日)、教会の温泉旅行が予定されています。場所：河口湖ホテル美富士園
主の恵みの中で、神の家族として豊かな交わりを持つ大切な機会です。お祈りお願ひします。
- 来週、21日の昼食には敬老の日のお祝いをします。
心づくしのお料理を作ります。みんなで楽しくお祝いをしましょう。
- 9月22日(月)～27日(土)、柳牧師夫妻が韓国教団の総会に出席するため、韓国へ行かれます。
この期間、総会での交わりと奉仕が豊かな恵みとなるように、皆さまのお祈りをお願いいたします。
- 三分ブリッジ伝道法と共に学びましょう！
教会では、誰でも簡単に福音を伝えることができる「三分ブリッジ伝道法」を、教会全体で覚えて実践していくことを目指しています。

聖徒の為に祈りましょう。

- ・コロナとインフルエンザから守られますように。
- ・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・YouTubeライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんのがんに。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)

救いの確信について

ローマ 10:9-10

もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神がイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるのです。

人は心に信じて義とされ、口で告白して救われるのです。」

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 韓芽唯(賛美リーダ) 平澤寿子(祈祷)

夕方賛美礼拝 韩芽唯(賛美リーダ) 松島スヤンティ(祈祷)

水曜礼拝 松島スヤンティ(司会) 韩芽唯(祈祷)

礼拝時間案内

主日礼拝	AM 11:00
夕方賛美礼拝	PM 2:30
教会学校（小学生まで）	AM 9:50～10:30
水曜礼拝	PM 7:00
祈祷会・火・木曜日	PM 8:30～9:30
土曜日	PM 8:00～9:00

神の国とその義を
第一に求める

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

www.iidahc.com

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)

副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝

AM 11:00~

賛美リード	柳澄香
（使徒信条）	
北原孝子	
インマヌエル聖歌隊	
ローマ 10:9-10	
（救いの確信について）	
メッセージ	柳承吉牧師
賛 美	神の家族
祝 祷	柳承吉牧師

夕方賛美礼拝

PM 2:30~

お休み

水曜礼拝

PM 7:00~

司 会	韓芽唯
代表祈祷	高木はつ江
聖書個所	ローマ書 7:9-13
メッセージ	柳 承吉牧師

ローマ書 7章の概略(4)

今週の御言葉

救いの確信について ローマ 10:9-10

「あなたには救いの確信がありますか？」と問われたら、どう答えるでしょうか。多くの人が、自分の靈的体験や特別な感情を基準にして「ある」「ない」と答えます。

しかし、救いの確信を体験だけに依存すると、大きな問題にぶつかります。劇的な体験を持たない人も多くいますし、また感情は変わりやすいからです。

聖書は、神の子どもとされた者が救いの確信を持ち、喜びと平安の中で歩むように教えています。

歴史を通して回復された「救いの確信」

1517年、宗教改革はまさに「救いの確信」を求める探求の中で起こりました。ルターは修道士として、祈り、断食、自己犠牲を積み重ねましたが、良心の呵責から解放されることはませんでした。どれだけ努力しても、自分の中から罪を取り除けないことを悟ったのです。

しかし彼はローマ 1:17「義人は信仰によって生きる」という御言葉に出会い、目が開かれました。救いとは私の行いではなく、キリストが十字架で成し遂げてくださった完全な義を信じる信仰によって与えられるものだ、と。救いは「神の賜物」であり、無代価の恵みであることを発見したのです。このときから改革者たちは声をあげました。救いは行いによらず、信仰によって、ただ恵みによって与えられる！ここに「救いの確信」が回復されたのです。

聖書が示す客観的な根拠

では、私たちはどこに救いの確信を置けばよいのでしょうか。それは「感情」でも「体験」でもなく、聖書が証言する客観的な事実に立つことです。

聖書が証する二つの歴史的事実があります。

創造一神が万物と人間を造られた。これを抜きに人間の存在の意味を説明することはできません。

イエス・キリストの復活—これは数百人の目撃者によって証言され、使徒たちは命をかけてこの事実を証しました。もし復活がなかったなら、私たちの信仰は虚しい。しかし復活が真実なら、聖書のすべての証言も真実です。救いの確信の実際

ローマ 10:9-10は言います。「口でイエスを主と告白し、心で復活を信じるなら救われる。」ここで「主と告白する」とは、イエスを私の人生の王、主人として受け入れことです。単なる口先の告白ではなく、主の御言葉に従順に生きる姿勢を意味します。さらに、救いの確信は聖霊によって強められます。御霊は私たちの心に「アバ、父よ」と呼ばせ(ローマ 8:15)、私たちが神の子どもであることを証してくださいます。

したがって、救いの確信とは「歴史的に確かな十字架と復活の事実」と「御霊の内的証し」と「イエスを主とする従順の歩み」の三つが重なって確かなものとなるのです。

救われた者の生活

救いの確信を持つ者は、不安や恐れの中で「救われるためには善行を積む」のではなく、既に救われた恵みに感謝して「善行を行う」者となります。善行は救いの条件ではなく、「感謝の実」であり「信仰の実」です。枝が木につながってこそ実を結ぶように、キリストと結ばれてこそ聖霊の実が私たちの生活に現れます。だからこそ私たちは日々、主に従順に歩む中で、愛・喜び・平安といった実を結び、神の栄光をあらわすのです。